

ウゴービ®皮下注 MDを使用される方へ

ウゴービ®皮下注 MD 治療ガイド

食事・運動療法を継続した上で、
ウゴービ®週1回投与による肥満症治療を進めていきましょう。



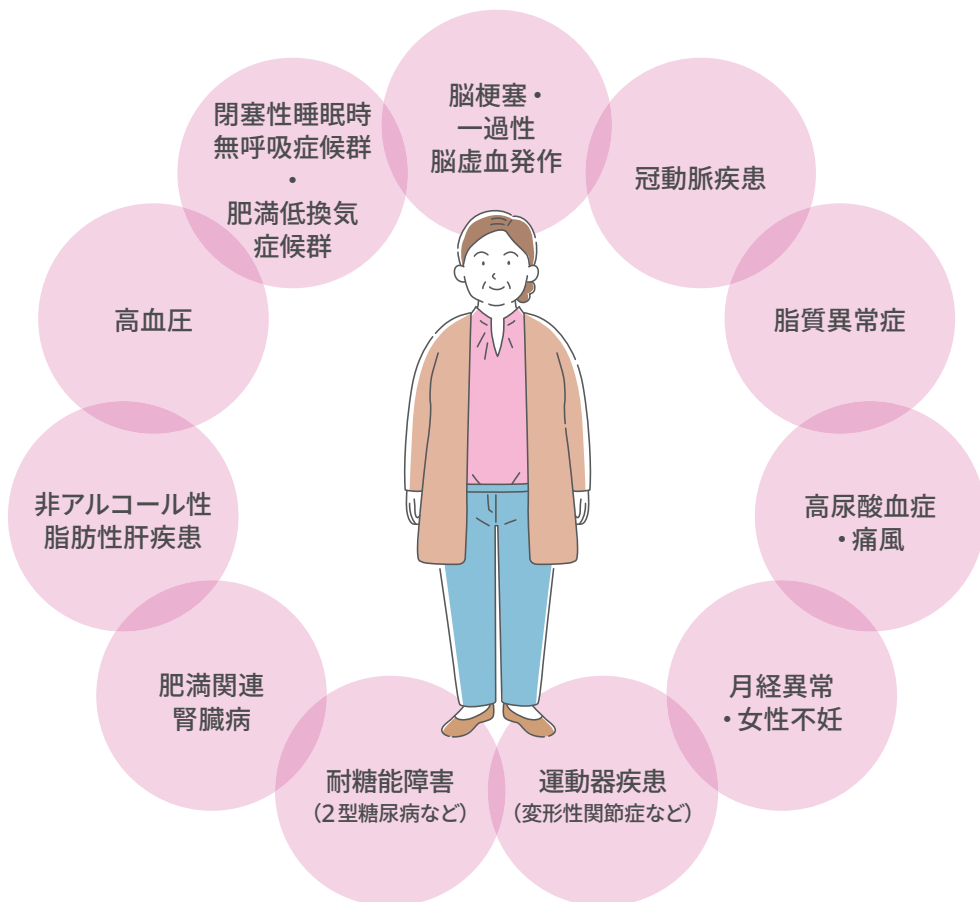
肥満と肥満症について

- ・肥満とは、BMI※が25以上で、体内に脂肪が過剰に蓄積した状態のことを言います。
- ・肥満症は、医学的に減量が必要な肥満を言います。
- ・肥満症は、肥満に関連する健康障害(下図)がある場合、あるいは内臓脂肪の蓄積で健康障害が起りやすい状態にある場合に診断されます。
- ・肥満の重症度と肥満状態の長期化はどちらも心血管疾患発症に影響を与えることがわかっています¹⁾。

※BMI(kg/m²)=体重(kg)÷[身長(m)×身長(m)]

1) Sidhu SK et al. : Arterioscler Thromb Vasc Biol 43(10) : 1764-1774, 2023

肥満症の診断に必要な健康障害²⁾



2) 日本肥満学会編：肥満症診療ガイドライン2022, 東京, 2022, ライフサイエンス出版, p1 より作成

肥満症を治療する目的は、減量によって健康障害や健康障害リスクを改善し、QOL改善につなげることです。

ウゴービ®の治療対象となる患者さんについて

治療開始にあたって

ご自身が、以下のチェックにあてはまる「肥満症」かどうかをご確認ください。

● 高血圧、脂質異常症または2型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られていない肥満症

☑ BMI 27kg/m² 以上で、2つ以上の肥満に関連する健康障害 (p2 参照) がある

☑ BMI 35kg/m² 以上

肥満症治療の基本である食事療法及び運動療法をあらかじめ行っても効果が不十分な場合、ウゴービ®による治療を開始します。

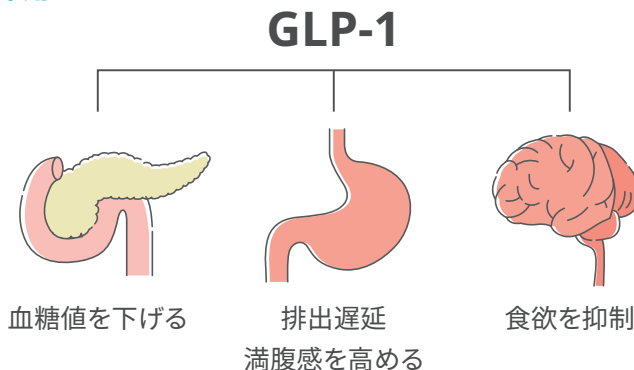
ウゴービ®による治療は、主治医の指示に従って行います。

なお、上記以外の目的 (美容・^{ソウシ}瘦身・ダイエットなど) で使用された場合の安全性及び有効性については確認されておりません。主治医の指示に従って、正しく安全にご使用ください。

ウゴービ®はGLP-1受容体作動薬です

GLP-1とは、体内にあるホルモンで、**下図**のように様々な作用があります。ウゴービ®は、体内のGLP-1と似た作用をもつお薬です。

GLP-1の主な作用



食行動を司る脳の働き



空腹感・満腹感

- 空腹を感じ、食べたいと思う
- 食事を開始して満足感を得る(満腹感)

食嗜好のコントロール

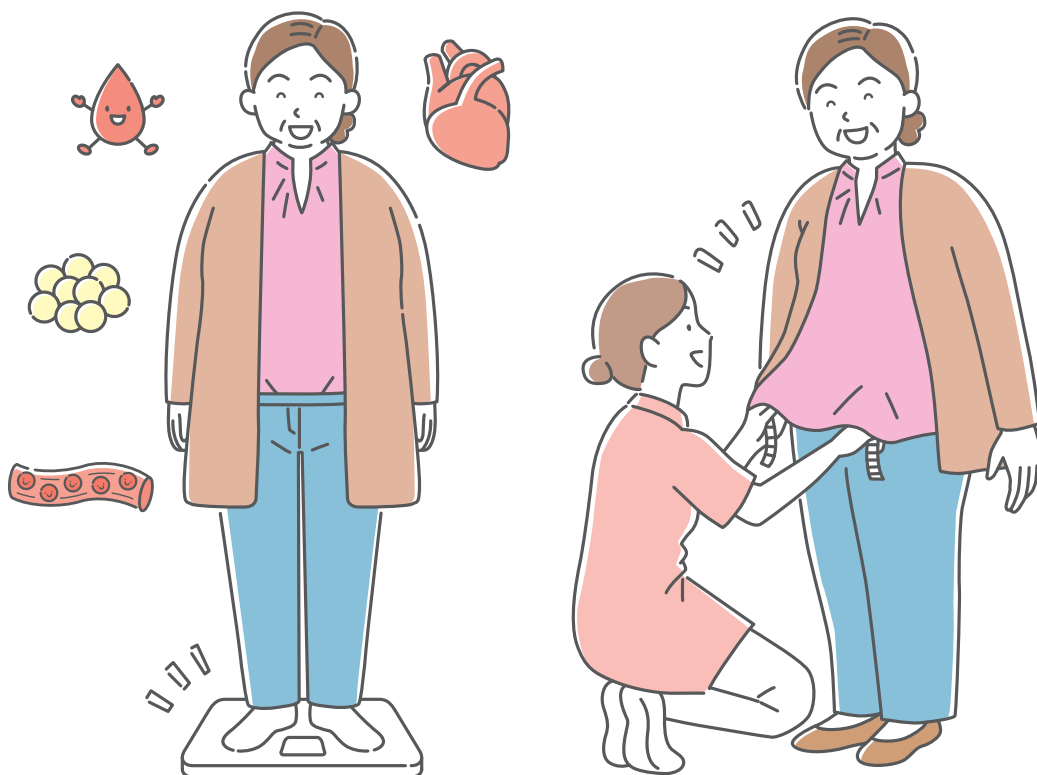
- 炭水化物、高脂肪食や乳製品、塩味のあるものを食べたいと思う
- 食事をすることで心地よい感情変化(快情動)カイジョウドウがもたらされる
- 食べたい気持ちが抑えられない



食欲を抑制するウゴービ®の作用

ウゴービ®は、週1回の投与を続けることによって、食欲を抑制し、エネルギー摂取量や食べ物の好みを変化させて体重を減少させます。

治療により期待される効果



ウゴービ®による治療により、次の効果が期待できます。

- 内臓脂肪の減少
- 体重減少
- 腹囲(おへその位置)の減少

日本人・韓国人の肥満症患者さん※では、食事・運動療法に加えたウゴービ®週1回、68週間の治療により、平均13%の体重減少効果が確認されました。また、8割以上の患者さんに5%以上の体重減少効果がみられました¹⁾。

1) 社内資料：ウゴービ®皮下注 第Ⅲ相臨床試験 (NN9536-4382) (承認時評価資料)

※BMIが27kg/m²以上で2つ以上の肥満に関連する健康障害がある、またはBMIが35kg/m²以上で1つ以上の肥満に関連する健康障害がある患者さん。肥満に関連する健康障害のうち、少なくとも1つは高血圧、脂質異常症、2型糖尿病である。

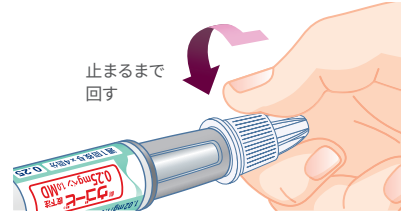
ウゴービ®皮下注 MDの投与方法

自己注射に際しては、「取扱説明書」を必ずお読みください。

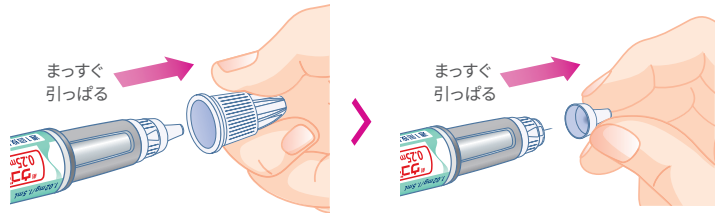
ステップ1. 注射針の取り付け

手指を石けんでよく洗ってからはじめましょう。

注射針の後針をゴム栓にまっすぐ奥まで刺し、止まるまで回します。注射針は、A型専用注射針を用いてください。

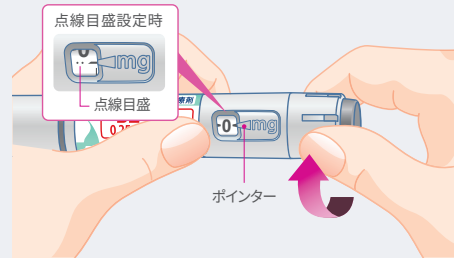


「針ケース」と「針キャップ」をまっすぐ引っぱってはずします。



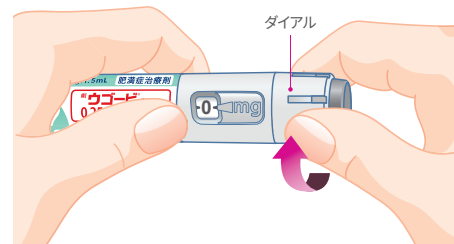
【初回使用時のみ】動作確認

点線目盛りをポインターに合わせて針先から薬液が出ることを確認しましょう。



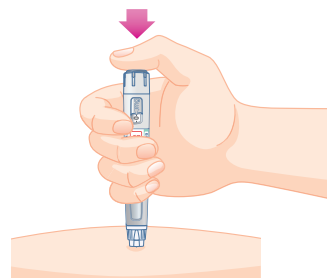
ステップ2. 投与量の設定

主治医に指示された投与量が表示されるまで、ダイヤルを回します。



ステップ3. 注射

注入ボタンを押した状態で、6秒以上注射針を刺したままにしてください。



ゆっくり数えてください

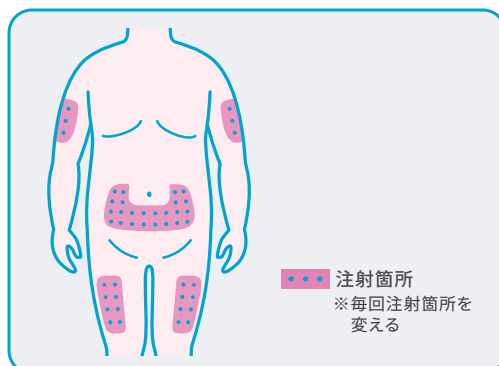


注射が終わったら

- 注射針に「針ケース」をまっすぐつけ、針ケースごと回してはずします。
- 使用済みの注射針や**使用後のペン**は、取り扱いに十分注意し、医療従事者の指示に従い危険のないように捨ててください。

注射部位について

- 注射する部位（腹部、大腿、上腕）は、必ず主治医の指示に従ってください。
- 注射箇所は毎回変更し、少なくとも前回の注射箇所より2～3cm離してください。



保管方法

未使用時

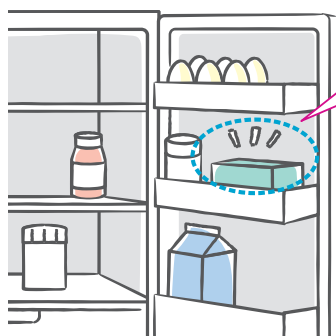
冷蔵庫（2～8℃）で保管してください。

- 冷蔵庫での保管は凍結させないようにしてください。
- 冷蔵庫内で保管する場合は、食品などとは区別して清潔に保管してください。
- フリーザーの中や冷蔵庫内の冷風が直接あたるような場所は、凍結するおそれがあるので避けてください。
- 一度凍ったウゴービ®は使用しないでください。健康障害が生じるおそれがあります。

使用開始後

使用開始後は、室温または冷蔵庫（2～8℃）で保管してください。

- 冷蔵庫での保管は凍結させないようにしてください。
- 使用開始後**6週間以内**に使用してください。
- 必ずキャップをつけて保管してください。（必ず注射針をはずしてください。）
- ウゴービ®や注射針などは、お子様の手の届かないところに保管してください。



ドアポケットなどに入れる

（食品とは区別／
冷風があたらないように）



主な副作用

ウゴービ®の主な副作用には、低血糖、消化器症状、急性膵炎、胆のう炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸オウダンなどがあります。

低血糖

- 脱力感、倦怠感、強い空腹感、冷や汗、血の気が引く、動悸、ふるえ、頭痛、めまい、吐き気などが起こる場合があります。
- これらの症状を感じたら、すぐに主治医に相談してください。

疲れやすい



冷や汗が出る



血の気が引く



手足のふるえ



消化器症状

- 吐き気、おう吐、下痢、便秘、消化不良、腹痛などが起こる場合があります。
- 数週間で治まることもありますが、気になる症状があらわれたら、自分の判断で治療を止めず、主治医に相談してください。



吐き気



下痢・便秘

急性膵炎

- 吐き気、おう吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張るなどが起こる場合があります。
- これらの症状を感じたら、すぐに主治医に相談してください。



背中の痛み

胆のう炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸オウダン

- 白目が黄色くなる、腹痛などが起こる場合があります。



腹痛

なお、インスリンをお使いになっている患者さんがウゴービ®の治療を開始する場合は、主治医と相談してください。インスリンからGLP-1受容体作動薬に切り替えた際に、高血糖が報告されています。もし高血糖になった場合は、すぐに主治医に相談してください。

他にも気になることがあれば、主治医に相談してください。

投与量調整

ウゴービ®は、週1回 0.25mg から開始し、4週間の間隔で、週1回 0.5mg、1.0mg、1.7mg、2.4mg にそれぞれ増量します。毎週決まった曜日に投与してください。用量にあわせて5規格のウゴービ®をご用意しています。



ウゴービ®の用量は主治医の指示に従ってください。

使用方法の詳細や、注意事項については、取扱説明書をご覧ください。また自己注射にあたっては、医療従事者より十分な説明を受けてください。

注射を忘れてしまった場合の対処

次の投与予定日まで2日(48時間)以上の場合

気づいた時点で直ちに1回分を投与し、
その後はあらかじめ決められた曜日に投与してください。

例) 日曜日が投与日

日	月	火	水	木	金	土
投与忘れ		忘れた分を投与する				1回分スキップ
次回分投与						

次の投与予定日まで2日(48時間)未満の場合

忘れた分は投与せず、次の投与予定日に1回分を投与してください。

2回分を一度に投与するなど、忘れた分を埋め合わせないでください。



ウゴービ®皮下注 MDの詳しい投与方法は、
動画でもご確認いただけます。
二次元コードまたはURLより
アクセスしてください。



ウゴービ®皮下注 MD
ムービーガイド

[https://nn-product.videomarketingplatform.co/secret/
114265686/6d863a56a8eac8c89270802bb1ee39fe](https://nn-product.videomarketingplatform.co/secret/114265686/6d863a56a8eac8c89270802bb1ee39fe)

ウゴービ® ダイアリー (記入例)

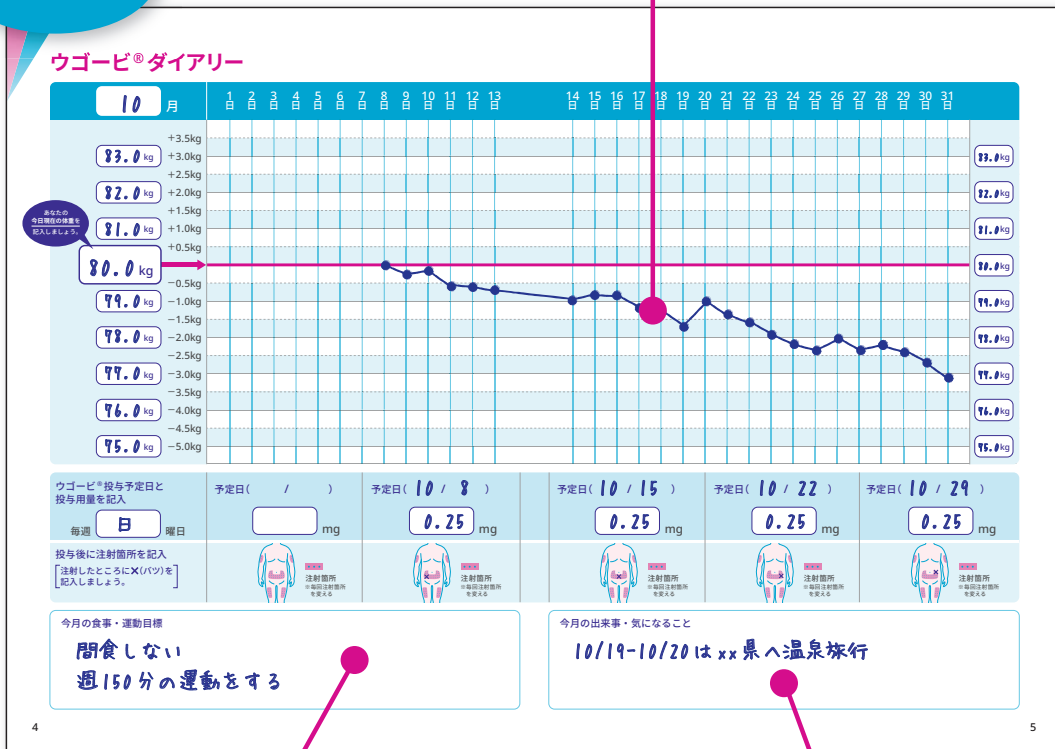
治療はダイアリーを活用して進めましょう。

毎日、同じ時間帯に体重を測定し、すぐにダイアリーに記入しましょう。

少しずつ変化する体重を記録することで、治療のモチベーションを高めることにつながります。

記入例

1ヵ月の中で、体重の変化がグラフで視覚的にわかります。毎日記録しましょう。



医療従事者と相談し、今月の食事目標と運動目標を記入しましょう。

普段と異なることがあれば忘れずに記入しましょう。



ウゴービ® ダイアリー

月		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	+3.5kg													
<input type="text"/> kg	+3.0kg													
<input type="text"/> kg	+2.5kg													
<input type="text"/> kg	+2.0kg													
<input type="text"/> kg	+1.5kg													
<input type="text"/> kg	+1.0kg													
<input type="text"/> kg	+0.5kg													
<input type="text"/> kg	0kg													
<input type="text"/> kg	-0.5kg													
<input type="text"/> kg	-1.0kg													
<input type="text"/> kg	-1.5kg													
<input type="text"/> kg	-2.0kg													
<input type="text"/> kg	-2.5kg													
<input type="text"/> kg	-3.0kg													
<input type="text"/> kg	-3.5kg													
<input type="text"/> kg	-4.0kg													
<input type="text"/> kg	-4.5kg													
<input type="text"/> kg	-5.0kg													

あなたの
今日現在の体重を
記入しましょう。

ウゴービ® 投与予定日と
投与用量を記入

毎週 曜日

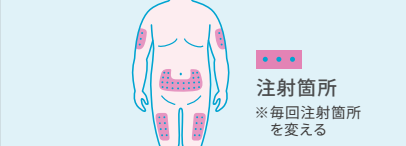
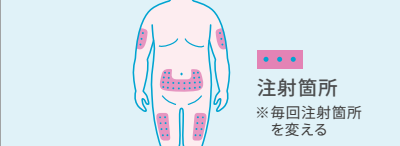
予定日(/)

mg

予定日(/)

mg

投与後に注射箇所を記入
[注射したところに×(バツ)を
記入しましょう。]



今月の食事・運動目標

受診や検査の記録

診察時の検査結果を記入しましょう。ウゴービ®の治療経過と合わせて変化を確認しましょう。

受診日		/	/
検査項目			
体重(kg)			
腹囲(cm)			
HbA1c(%)			
診察室血圧 収縮期/拡張期(mmHg)			
脂質	LDL- コレステロール (mg/dL)		
	HDL- コレステロール (mg/dL)		
	中性脂肪(トリグリセライド) (mg/dL)		
その他の検査結果			
通信欄			

ウゴービ®を安全に使用するために、
注意事項やその他の必要事項の詳細については、
取扱説明書をご覧ください。
また自己注射にあたっては、
医療従事者より十分な説明を受けてください。



ウゴービ®に関する情報は、弊社ホームページ内のウゴービケア®でもご確認いただけます。二次元コードまたはURLよりアクセスしてください。



ウゴービ®皮下注

患者さん向けWebsite(ウゴービケア®)

<https://www.novonordisk.co.jp/products/how-to/injection-obesity/wegovy-md.html>

弊社製品に関するお問い合わせ

(治療内容に関しましては、主治医にご相談ください)

ノボケア相談室



月曜日から金曜日

(祝日・会社休日を除く)



0120-180363



夜間及び

土日・祝日・会社休日

(注) お問い合わせ内容によっては、翌営業日に
回答させていただく場合がございます。



0120-359516

医療機関名

ノボ ルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
www.novonordisk.co.jp

JP25SEMO00177
(2025年7月作成)